

12/19より、聖学院中高が3年振りにタイ研修旅行を実施 「私が願うべき願いとは何か？」をドライビング・クエスチョンに

聖学院中学校・高等学校(東京都北区、校長:伊藤大輔)は、1991年から始まったタイ研修旅行を3年振りに実施します。研修旅行には中学3年、高校1、2年の生徒23名が参加をし、12/19(月)～31(土)までの13日間を過ごします。

生徒たちは研修旅行に課題意識を持って参加。今年は「私が願うべき願いとは何か？」をドライビング・クエスチョンとしています。タイには国籍を持たない人たちが多く存在し、聖学院の生徒と同世代の無国籍の高校生もいます。彼らは無国籍であることで様々な制限があり社会的無力感を抱かざるを得ません。そうした社会課題について考え、可能性をつくるための行動や、希望につなげることを研修旅行の目的としています。生徒たちは帰国後、タイでの学びの内容をレポートにまとめて、来年6月にはレポート集として発行。出版記念イベントを開催して販売を行う予定です。レポート集の販売収益はタイ、チェンライのメーコック財団、アプアリ財団、ルンアルン(暁)プロジェクトへ寄付されます。

【タイ研修旅行プログラム】

チェンマイ:現地校の留学体験。現地の生徒とバディとなり、バディの自宅へホームステイ。

メースワイ:コーヒー栽培で山岳民族の支援活動をする中野穂積さんのコーヒー農園を訪問し、収穫体験を行います。

チェンライ:国境地帯を訪れる日帰りスタディツアー。その後、タイ研修旅行スタート当初から交流があるメーコックファームに滞在します。「縁日プロジェクト」「フリーマーケット」「Tシャツ作り」のプログラムを行います。生徒たちはそれぞれのプロジェクトに分かれて、現在は日本で準備を行っています。

《縁日プロジェクト》料理の提供、アトラクション

《フリーマーケット》服などを日本から持っていくフリーマーケットで販売。収益はメーコック財団、アプアリ財団、ルンアルン(暁)プロジェクトへ寄付します。

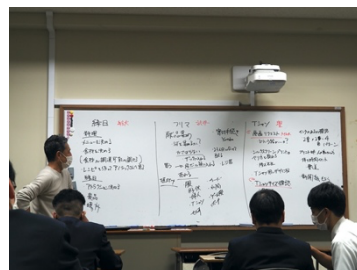
《Tシャツ作り》MKFの子どもたちに原画を描いてもらい、聖学院中高の生徒がデザイン。現地にてシルクスクリーン印刷をしてTシャツ作りを行います。



シルクスクリーンでTシャツ作り



現地で料理



企画ミーティング

【本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先】

学校法人聖学院 広報センター: 松田、萩野 pr_h@seigakuin-univ.ac.jp



※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGsをめざした活動を行っています。

※SDGs…2030年までの実現をめざし掲げられた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」

《参考》

学校法人聖学院

創立 1903年

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

【教職員の概要(本務)】

大学教員 94人

中高教員 108人

小学校教員 21人

幼稚園教員 15人

教員計 238人

職員 122人

※教職員数は2022年5月1日現在(大学院ならびに総合研究所教員は大学教員の内数)

【聖学院各校情報】

所在地 学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

聖学院大学・聖学院大学大学院 学生数:2,335人

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1

聖学院中学校・高等学校 生徒数:913人

〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1

女子聖学院中学校・高等学校 生徒数:686人

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

聖学院小学校 児童数:426人

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1

聖学院幼稚園 児童数:114人

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2

聖学院みどり幼稚園 児童数:107人

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820

※学生・生徒・児童数は2022年5月1日現在